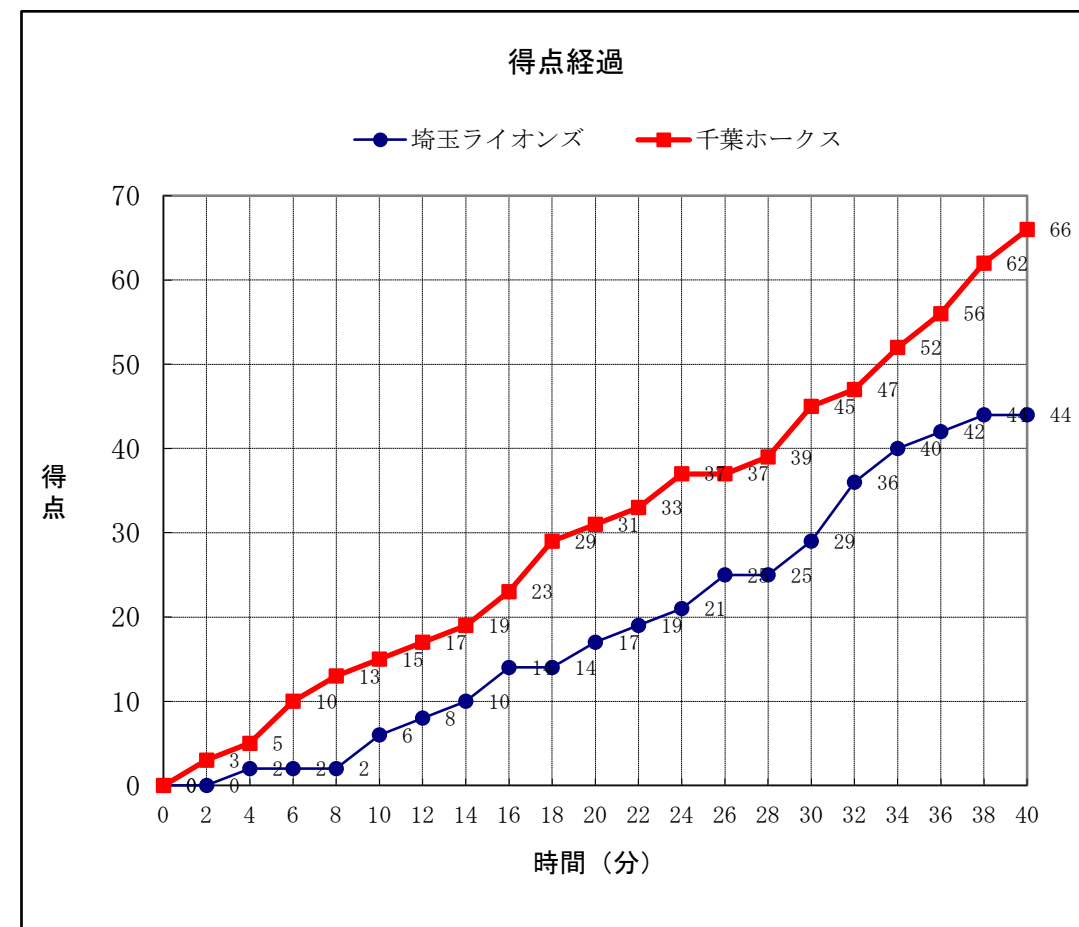


「東日本大震災」被災地復興支援 内閣総理大臣杯争奪
第40回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表

2012年5月4日 12時00分開始										東京体育館 M - 9									
3位決定戦																			
埼玉ライオンズ 44 (関東)										66 千葉ホークス 66 (関東)									
										◎									
										千葉ホークス									
										(関東)									
										6 1クォーター 15									
										11 2クォーター 16									
										12 3クォーター 14									
										15 4クォーター 21									
番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則		
4	斎藤 智之 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-	* 4	土子 大輔 (4.0)	27	0	9	9	-	-	-		
* 5	永田 裕幸 (2.0)	9	0	4	1	-	-	3	5	宇埜 雄太 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-		
7	水本 栄喜 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-	* 6	植木 隆人 (2.0)	8	0	4	0	-	-	3		
8	蔵持 弘 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-	7	田中 恒一 (3.0)	0	0	0	0	-	-	1		
9	原田 翔平 (1.0)	0	0	0	0	-	-	2	8	坂井 大 (2.0)	0	0	0	0	-	-	1		
10	森田 俊光 (2.0)	0	0	0	0	-	-	1	9	阿部 匡志 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-		
* 13	篠田 匡世 (3.5)	12	0	6	0	-	-	3	10	千脇 貢 (2.5)	8	0	3	2	-	-	2		
* 15	青木 大 (1.0)	5	1	1	0	-	-	1	11	香西 宏昭 (3.5)	-	-	-	-	-	-	-		
* 17	大館 秀雄 (4.0)	10	0	5	0	-	-	5	12	徳永 征士 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-		
18	河田 直人 (2.0)	0	0	0	0	-	-	-	13	下村 浩之 (1.0)	0	0	0	0	-	-	-		
* 19	三元 大輔 (3.5)	6	0	3	0	-	-	4	* 14	鈴木 明将 (3.5)	6	0	3	0	-	-	-		
20	宮澤 厚史 (2.0)	2	0	1	0	-	-	2	* 15	京谷 和幸 (1.0)	12	1	4	1	-	-	3		
21	佐藤 渉 (4.5)	0	0	0	0	-	-	3	16	伊東 容臣 (4.0)	0	0	0	0	-	-	-		
									* 17	太田 空 (3.0)	5	0	2	1	-	-	3		
HC	水本 栄喜								HC	菊地 哲博									
AC	松田 伊代								AC	杉山 浩									
マネージャー	原口 愛子								AC	猪田 博敏									
マネージャー	永盛 雅子								マネージャー	左東 摩子									
マネージャー	三木 ゆかり								マネージャー	小椋 恵美理									
トレーナー	早坂 優一								トレーナー	眞田 崇									
合計		44	1	20	1	0	0	24	合計		66	1	25	13	0	0	13		
主審：菅野 英輔 副審：増竹 昇 副審：加藤 昌樹																			



〔戦評〕

【1Q】千葉4番土子のシュートでゲームがスタートする。両チーム中々シュートが決まらない中、千葉15番京谷のトップからのシュートとカウント1スローが決まり、ゲームが動き出す。埼玉は13番篠田がシュートを入れ返すが、パスミスやファールが重なる。残り6分半で15番京谷の3ポイントが決まる。両チーム共激しいディフェンスでペイント内は取らせず、ミドルシュートの打ち合いになる。埼玉のシュートが決まらない中、千葉4番土子がポイントを重ねる。埼玉は終了間際に5番永田のランニングシュートが決まり、6対15で1Qを終了する。

【2Q】千葉4番の土子のシュートで始まる。千葉は15番京谷のミドルシュート、埼玉は永田を中心に攻め、互いに点を取り合う。埼玉は途中マンツーマンディフェンスを仕掛けるが、千葉の優勢は続く。17対31で2Q終了。

【3Q】埼玉4番のシュートで始まるが、千葉もすぐに入れ返す。両チーム一進一退の攻防の中、千葉10番千脇の3点プレーで、千葉が差を広げる。埼玉は17番大館のシュートで食らいつくが、千葉4番土子のゴール下の連続得点で差を18点差にされる。

【4Q】両チームともゴール下を2本ずつ決め、ゲームのスピードが上がる。埼玉は青木の3ポイントなど、連続得点を重ね、10点差まで追い上げる。その後、埼玉17番大館が5ファールでファールアウトする。千葉はつき放しにかかるが、埼玉は踏ん張り6点差に詰めよる。しかしフルメンバーでない埼玉は、じわじわと点差を広げられ、14点差とされたところでタイムアウトを取る。両チームマンツーマンディフェンスを敷く。ミスが続く埼玉に対し千葉は確実に得点を重ね、更に点差が広がる。埼玉はファールゲームに持ち込み、逆転を狙うが、最後まで差を詰める事が出来ず、22点差で試合終了。

(担当：千葉/関/太田/鳥居)